



2013年 4月

☆がん薬物療法研究部において開発された特殊抗体が発売されました。

2013年 5月

☆今井隆之医師（社会人大学院生・がん先進治療開発研究部・頭頸科）の下咽頭癌におけるがん幹細胞の同定に関する論文がPLoSOneにアクセプトされました。

☆土屋雅美薬剤師（日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師）が「平成24年度がん専門薬剤師認定申請における優秀症例賞」を受賞し、5月18日「第1回がん専門薬剤師全体会議」において表彰されました。

## 外来新患診療体制表

平成25年 5月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部消化管・胆	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●	●	●	●	●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科			●	●		●
乳腺科		●			●	
消化器外科			●	●	●	●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻咽喉科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●		●
緩和医療科				●		●

\*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。  
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



### 交通案内

**J 桜交** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
**南交** 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
**自家用車** 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

### 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152(直通)  
(022) 384-3151(代) 内線115
- FAX (022) 381-1169

**宮城県立がんセンター**  
 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1  
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

# がんセンター 便り



宮城県立がんセンター地域医療連携室

総長 西 條 茂

### ＜名称の変更について＞

平成19年3月から「地域医療連携室だより」として皆さんへお届けして参りましたが、今回より、「がんセンター便り」と名称を変更して皆さんへお届けいたします。がんセンターのトピックスを中心に従来通りお届けいたしますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

### ＜新棟の進捗状況について＞

今年度の大きな事業としては新棟が建設され、高精度放射線治療機器であるトモセラピーとPETが導入されます。また今後、外来化学療法を受ける患者の皆様の増加が見込まれ増床した化学療法室を設置いたします。幸い建設の方は順調でほぼ予定どおりの工程で6月には完成いたします。トモセラピー、PET、化学療法室の稼働は10月頃を予定しております。

### ＜人事異動について＞

さて、今回は当センター外科で大きな人事異動がありました。長年当センターでご活躍いただきました、椎葉健一先生と山並秀章先生がご榮転されることになりました。椎葉健一先生は、平成17年に東北大学から赴任され消化器外科科長としての重責を果たしていただきましたが、この度、石巻市立病院副院長として市立病院の復興に携わることになりました。赴任されても多くの困難が待ち受けていることと思いますが、ぜひ石巻地区の医療復活のためにご尽力いただきたいと思います。

山並秀章先生は、平成9年に赴任され多方面にわたりご活躍いただきました。今回、北海道の帯広第一病院の外科部長として転勤されました。帯広第一病院の院長は東北大学同門の富永剛先生で、富永先生も以前がんセンターに勤務されたことのある先生です。

椎葉先生、山並先生お二人の益々のご発展を期待しております。

お二人の後任には、東北大学消化器外科准教授三浦康先生と山形県立中央病院外科から山本久仁治先生にお出いただきました。三浦先生は大変立派なご経歴の先生ですし、山本先生は肝胆膵外科高度技



新棟完成予想図



山本久仁治先生 三浦康先生



手術風景

能指導医の資格を有しており、今後肝胆膵外科も積極的に行います。

4月から増員となりました診療科は、泌尿器科に方山博路先生が加わり4人体制に、緩和医療科に清川裕道先生が赴任して2人体制になりました。整形外科では服部弘之先生から林耕宇先生に、放射線治療科の古積麻衣子先生は佐藤友美先生に、呼吸器外科は月館久勝先生から田中僚太先生に変わり、消化器内科に白木健悠先生が加わりすでに活躍しております。

今年度は診断から治療までスピーディで良質な医療を目指しますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



手術風景

# 新任医師紹介

- ① 診療科
- ② 出身地
- ③ 挨拶・抱負など

**三浦 康**  
(みうらこう)



- ① 消化器外科
- ② 青森県弘前市
- ③ 2013年4月より外科医療部長に着任しました三浦康です。外科臨床のさらなる活性化に尽力するとともに、研究所の島礼部長、田中伸幸部長、佐藤賢一部長、ほかの皆さんと連携して、癌研究に注力したいと希望しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

**山本久仁治**  
(やまもとくにはる)



- ① 消化器外科
- ② 宮城県
- ③ 平成25年4月1日より宮城県立がんセンターに着任しました山本久仁治です。当センターでは外科の一員として胆道癌、膵癌、肝癌などを対象とした肝胆膵外科を中心に取り組んでおります。まだまだ至らない点多々あるかと存じますが、消化器内科の協力のもと、足腰のしっかりとした医療を目指していく所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

**林 耕宇**  
(はやしこう)



- ① 整形外科
- ② 宮城県
- ③ この度、腫瘍という整形外科領域では、特殊な分野に携わるになりました。不慣れな点や不十分な点は多々あると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

**田中 遼太**  
(たなかりょうた)



- ① 呼吸器外科
- ② 山形県
- ③ 4月から呼吸器外科に来ました田中です。仙台医療センターで2年間の初期研修、2年間の呼吸器外科研修を経て今年からがんセンターでお世話になります。新たな環境でも精一杯頑張っていきます。よろしくお願いします。

**佐藤 友美**  
(さとうゆみ)



- ① 放射線治療科
- ② 宮城県
- ③ まだまだ未熟な所も多く、みなさまに支えられることも多いと思います。協力して診療ができれば幸いです。よろしくお願いします。

**清川 裕道**  
(きよかわひろみち)



- ① 緩和医療科
- ② 福島県
- ③ 4月から緩和医療科でお世話になっております。元々は耳鼻咽喉科です。頭頸部癌患者様を中心に緩和医療の研修をさせていただいています。よろしくお願いします。

**方山 博路**  
(かたやまひろみち)



- ① 泌尿器科
- ② 青森県八戸市
- ③ 仙台市立病院から異動してきた方山です。医者になって9年目でまだまだ勉強中ですが、よろしくお願いします。今年の抱負は、自転車通勤です。

**白木 健悠**  
(しろきたけはる)



- ① 消化器内科
- ② 岩手県盛岡市
- ③ 少しでも皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願いします。

## 退任医師

- 椎葉 健一 消化器外科
- 山並 秀章 消化器外科
- 服部 弘之 整形外科
- 月館 久勝 呼吸器外科
- 古積麻衣子 放射線治療科

# 福島第一原子力発電所事故におけるがんセンターの放射線環境モニタリング

診療放射線技術部 小山 洋

2011年3月11日の東日本大震災からはや2年過ぎましたが、地域の復興はまだまだこれからだと感じています。また震災翌日に発生した福島第一原子力発電所事故は、当時のラジオの情報を聞いただけでも大きい不安だけが重く心にのしかかったことを記憶しています。

我々診療放射線技師は主に、CT検査や胸部レントゲン撮影、放射線治療等の照射業務に携わっている専門の職種です。日ごろから検査室の外に漏れ出ている放射線がないか測定しており、病院の敷地内外での放射線濃度を測定していましたが一定でした。しかし、福島原発の水素爆発事故直後3月12日より放射線の環境測定(モニタリング)を行い、一時的に高い放射線線量が測定されました。数値自体は、直ちに健康に影響を与えるレベルではなかったのですが、通常のバックグラウンドより一時的に高かったため、放射線技術部全員で初めての3週間は泊りの担当者が朝6時から夜間12時近くまで1時間ごとに細かく測定しました。徐々に測定回数を減らし、現在に至っております。

またその当時、毎日の病院内の地震被害対応打ち合わせ会議においては、頻繁に放射線技術部の測定結果に注目が集まり、会議のたびに「心配ない線量であり安心してください。」と報告させていただきました。そのうち、(公社)宮城県放射線技師会からもデータの提出要請があり県内病院6施設での比較ができるようホームページに現在も掲載されています。他病院とも実測データは同じ傾向を示しており、比較して正確な測定であることがわかりました。県民の注目度も高くホームページへのアクセス数もいつもの10倍以上で改めて関心の高さがわかりました。(http://www.radtech-miyagi.or.jp/category/monitoring/page/4/)

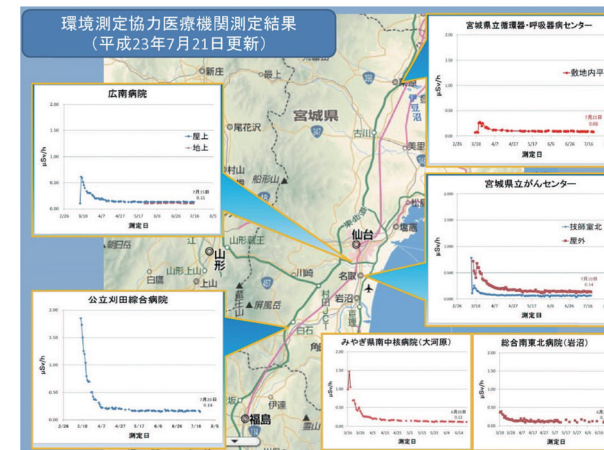
また、保護者からの強い要望があり、がんセンター院内保育園の放射線環境測定を3度行いました。乳幼児の小さいお子さんを主に預かっている施設ですので、室内はもちろん砂場についても測定しましたが、特に問題ないレベルであることを報告し安心されました。

震災当初は病院での当直体制の中、朝早くから夜間まで放射線技術部全員で代わる代わる測定していましたが、最近では放射線線量の測定値は変化が少なくなってきて落ち着いてきている状態になったと考えています。しかし、汚染水処理や廃炉作業の長い工程を考えると安心はできないと思っており、我々は測定回数を徐々に減らしながらも、まだコツコツと測定を続けていくことが重要と考えています。

最後に、この秋には新棟のほうにトモセラピーやPET-CTなど皆様も我々も待ち望んだ放射線装置が導入されます。近いうちにご紹介させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



診療放射線技師2人によるサーベイメータで実際に測定と記録しているところ



宮城県放射線技師会のHPに掲載している県内6施設の測定結果(平成23年7月時点)